

**震災復興ボランティア団体様へ3年間200名まで無料範囲を拡大
「サイボウズ Live」震災ボランティア支援プログラム開始**

サイボウズ株式会社(代表取締役社長:青野 慶久、本社:東京都文京区、以下、サイボウズ)は、東日本大震災の復興支援のために活動中のボランティア団体様へ、クラウド型コラボレーションツール「サイボウズ Live」の無料範囲の人数及び容量を拡大して提供する震災ボランティア支援プログラムを7月7日(木)より開始します。

「サイボウズ Live」は20名まで無料でご利用いただけますが、2011年3月11日(金)の震災以降、復興関連のボランティア団体様において利用者が急増していることから、震災ボランティア団体様に対して無料の人数を20名に、ファイル保存容量を2GBに拡大して提供する支援プログラムを実施することといたしました。今回は、第一期として2011年7月7日(木)から2011年8月31日(水)の期間に50団体を募集します。

■支援プログラムの詳細について

支援内容	「サイボウズ Live」で利用中のグループについて、 1. 200名まで無料利用可能に (※通常は1グループにつき20名まで無料。なお2012年2月予定の有料プラン開始までは100名まで無料利用可能です。) 2. ファイル保存容量の上限を2GBに (※通常は1グループにつき500MBまで無料)
無料利用期間	3年間
募集数	第一期 50団体
募集期間	2011年7月7日から2011年8月31日
応募方法	こちらの応募フォームよりお申し込みください。 https://pro.form-mailer.jp/fms/3417772d19796

■「サイボウズ Live」をご利用中の団体様からのメッセージ**◇ふんばろう東日本支援プロジェクト 様 (<http://fumbaro.org/>)**

「ふんばろう東日本支援プロジェクト」は、必要なものを必要な分必要な場所へ届けるための、被災地と支援者を結ぶプロジェクトです。

私たちは当初メーリングリストを中心に運営を行っていましたが、ボランティア・メンバーの増加と作業の多様化により、指示や報告、情報共有といったコミュニケーションが思うように進まなくなっていました。「サイボウズ Live」を導入して以降、部署や内容ごとに情報が一覧化され、とくにプロジェクトの要である物資管理のやり取りが非常に効率化されました。また、誰にでも分かりやすい直観的な雰囲気や、各種携帯電話からのアクセスのしやすさによる使用までのハードルの低さも印象的です。私たちは、近い将来に多くの人々から震災の記憶が薄れていくと考えています。だからこそ今のうちに、可能な限り効率的で迅速な支援活動を行っていきたくと思っています。

◇認定 NPO 法人自然環境復元協会 様 (<http://www.narec.or.jp/>)

認定 NPO 法人自然環境復元協会では 3.11 以降、内部に東日本大震災・復興支援プロジェクトを立ち上げ、海岸エコトーン

の再生と沿岸部の住民のふるさと回復をミッションとして活動しております。当協会は全国 3,000 名の環境分野の専門家と動いております。環境分野といってもさらに森・川・里・海や植物・動物・土木など専門分野が異なっています。

このように、メンバーが全国に散らばっているため移動交通費だけでお金がかかったり、普段実務をこなしているメンバー同士がなかなか時間を合わせられなかったり、さらに専門分野が異なったメンバーの英知を結集しなければいけなかったりと、様々な課題に対応すべく「サイボウズ Live」を導入しました。

時間・空間・専門性を超えて事業推進の会議と理解を深められる「サイボウズ Live」をお勧めします。みんなで頑張りましょう！

◇東京ボランティア・市民活動センター様 (<http://www.tvac.or.jp/>)

東京ボランティア・市民活動センターでは、東京都と協働し、都民を「東日本大震災 被災地支援都民ボランティア」として、被災地に派遣するプログラムを実施しています。

活動初期は、スタッフ同士のやり取りを電話とメールで行っており、同じ質問を別のスタッフから何度も受けるなど、引き継ぎが難しくなっていました。「サイボウズ Live」導入後は当事者間だけでなく、関連する周囲のスタッフとも報告や連絡を共有できるようになりました。

また、現地の情報をチームで共有・蓄積できるようになりました。現地からの電話報告を東京スタッフが「サイボウズ Live」に書き込み、集まった現地の声や、安全上の注意喚起などの情報をブログやツイッターで発信しています。

今後は、継続的な支援の輪が広がるよう、活動で引き継がれている情報をよりオープンな形で発信していきたいと考えています。

■「サイボウズ Live」の活用事例

被災者ホームステイプログラム「HOPESTAY」様など、ボランティア団体様の活用事例を Web サイトにて詳しくご紹介しています。

◇「サイボウズ Live」MAGAZINE 活用事例

http://magazine.cybozulive.com/use_case

■「サイボウズ Live」概要

「サイボウズ Live」は企業間プロジェクトやワーキンググループ、サークルや家族などで使えるクラウド型コラボレーションツールです。主に企業内において使用されてきたグループウェアの新しい利用シーンを提案すべく、ネット上で使える無料サービスとして展開しております。

・主な機能

- スケジュール共有機能
- 掲示板機能
- ToDo 管理機能
- ファイル共有機能

・特徴

- IT スキルを問わず、誰でも簡単に情報共有できる
- クラウド型のためサーバーへのインストールは不要

・「サイボウズ Live」を利用するために必要な環境

- インターネットに接続されたパソコン
- 携帯、スマートフォン

詳しくは「サイボウズ Live」ホームページをご覧ください。

<http://live.cybozu.co.jp/>

■ボランティア団体様からのお問い合わせ先

サイボウズ株式会社 ソーシャルコミュニケーション部:長山

MAIL: support@cybozulive.com

■報道関係者様からのお問い合わせ先

サイボウズ株式会社 社長室 コーポレート・コミュニケーション:渡辺

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-4-14 後楽森ビル 12 階 (TEL: 03-6316-1160 / FAX: 03-5805-9036 / MAIL: pr@cybozu.co.jp)

※記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。また、当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。個別の商標・著作物に関する注記については、こちらをご参照下さい。

http://cybozu.co.jp/company/copyright/other_companies_trademark.html